



令和6年8月9日
中部地方整備局
木曾川下流河川事務所

木曾三川流域開放講座で木曾三川の歴史を学ぼう

～尾張平野の川と戦国のまち～

木曾三川の治水、利水、環境、文化について学んでいただくことを目的に木曾三川流域開放講座を開講します。今回のテーマは” 尾張平野の川と戦国のまち”です。

木曾三川流域開放講座は、木曾三川 歴史・文化の調査研究資料「KISSO」^{※注1}とともに、木曾三川に対する理解を深める目的で毎年開講しており、今年で13年目になります。

令和6年度の講座では、戦国時代の尾張平野で河川の作る自然環境をいかに都市空間に利用していたのか、地図をもとに考えます。

1. 日 時 令和6年8月24日（土）13時30分～15時30分
2. 場 所 弥富市 市民ホール
愛知県弥富市前ヶ須町南本田 347 弥富まちなか交流館 3階
3. 参加者 講師…山村 亜希氏（京都大学 教授）
聴講者…開放講座にお申し込みいただいた一般の方
4. その他 取材をご希望される報道関係者の方は 8月21日（水）16時までに
問合せ先へご連絡ください。
5. 配布先 桑名市政記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ、
中部地方整備局記者クラブ

※注1 KISSOとは

木曾三川の治水の歴史や民俗・景観等の文化を伝えることで治水に対する意識啓発を諮るとともに、研究資料として後世に残すことを目的として、平成3年に創刊し、年4回発行しています。（<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/KISSO/index.html>）

（問合せ先）

中部地方整備局 木曾川下流河川事務所

副所長 岡本 賢一郎 建設専門官 小玉 有一

TEL 0594-24-5715 FAX 0594-21-0893

令和6年度 木曾三川流域 開放講座

2024年

参加費
無料

8/24土

13:30~15:30
〔13:00 受付開始〕

木曾三川流域開放講座は、“木曾三川 歴史・文化の調査研究資料”「KISS^{キッソ}」とともに、木曾三川の治水、利水、環境、文化について学んでいただくための講座です。

戦国時代の尾張平野には木曾川からの分流が多数流れており、その周囲には、城下町や湊町が建設されました。

「尾張平野の川と戦国のまち」と題した今回の講座では、河川の作る自然環境をいかに都市空間に利用していたのか、地図をもとに考えます。

演題 尾張平野の川と戦国のまち

講師 京都大学教授 山村 亜希氏

定員 100名（先着順）

会場 弥富市 市民ホール

弥富市前ヶ須町南本田347

TEL：0567-65-1111（市役所財政課）

弥富まちなか交流館3階

1階 弥富市歴史民俗資料館、
2階 弥富市立図書館が入っている建物です。

交通アクセス

近鉄・名鉄・JR弥富駅から徒歩10分

近鉄弥富駅よりきんちゃんバスで3分、「市役所」下車

東名阪弥富ICから南へ車で5分

または伊勢湾岸道湾岸弥富ICから北へ15分

駐車場

138台（市役所立体駐車場）

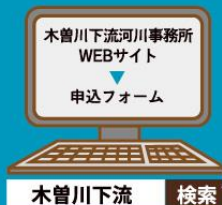
※駐車場には限りがございます。
公共交通機関をご利用ください。



申込方法

申込期間：2024年7月1日(月)～8月16日(金)

※ 先着順で、定員になり次第締切ります。



木曾川下流 検索

■二次元コードまたは木曾川下流河川事務所WEBサイトから河川財団WEBサイトの申込フォーム
[https://www.kasen.or.jp/r06kaihou_kouza.html]
にアクセスして、申込してください。

■申込された方には、受付整理番号をメールでお送りします
(当日、整理番号で受付をいたしますので、番号の控えをお持ちください)。



主催

国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

後援

弥富市 / 弥富市教育委員会

問合せ先

公益財団法人河川財団 名古屋事務所 TEL：052-963-5533

※公益財団法人河川財団は、木曾三川流域開放講座に関する企画・運営・管理について、国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所より委託を受けています。

講師プロフィール

山村 亜希氏

京都大学 教授

2015年まで愛知県立大学准教授

専門は歴史地理学

戦国期から近世初期の城下町・港町・鉱山町・宿場町などの都市空間を研究している

主著は『中世都市の空間構造』（吉川弘文館、2009年）

プラタモリ名古屋・熱田編、静岡編などに出演

犬山城天守と木曾川



今回の開放講座「尾張平野の川と戦国のまち」

戦国時代の尾張平野には木曾川からの分流が多数流れていました。

その周囲には、清須・岩倉・犬山といった城下町や津島のような湊町が建設されました。

戦国の尾張では、河川と都市が一体的に経営されていたのです。

これらはどのような「かたち」をしており、河川の作る自然環境をいかに都市空間に利用していたのでしょうか。

地図をもとに、戦国尾張の川とまちの関係と尾張特有の都市の原景を考えます。

津島の旧天王川



「KISSO」?

■ 木曾三川 歴史・文化の調査研究資料「KISSO」

キノサンセン
木曾三川（木曾川・長良川・揖斐川）の治水、利水、環境、文化について
学んでいただくために、平成3年12月、木曾三川 歴史・文化の調査研究資料
として創刊したのが、「KISSO」です。



木曾川のアルファベット「KISSO」に「SAVE=守る」という「SAVE THE KISSO」の意味を込めて名付けられました。

バックナンバーは、木曾川下流河川事務所のWEBサイトからご覧いただくことができます。ダウンロード（PDFファイル）することもできます。



木曾川下流河川事務所HP > 木曾三川で学ぶ > KISSO
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/KISSO/index.html>